



別海町立
中春別小学校
学校だより

窓

第8号

発行責任者 校長 荒 雅 樹
令和 3 年 10 月 29 日 発行

音楽発表会ありがとうございました

10月17日には、音楽発表会を実施いたしました。音楽発表をそれぞれの学年の保護者の方にご参観いただき、誠にありがとうございました。当日は降雨の予報でしたが、体育館の屋根に当たる雨音で、子どもたちの声がかき消されることもなく、無事に終わることができました。ただ、コロナウィルス感染拡大防止策として行った常時換気のため、少し肌寒い会場となりました。

その中でも、子どもたちは、「自分たちで取り組んできたことをしっかりと伝えよう」と元気に発表していました。発達の段階に応じて、子どもたちに必要な活動を取り入れたり、子どもたちのアイデアを発表の中に組み入れたり、あるいは、発表内容を子どもたちに任せたり……。子どもたちと先生方によって作り出された素晴らしい音楽発表会となりました。

9月末からの特別時間割週間では、休み時間など空いている時間にも、子どもたちが自主的に練習している姿が見られました。これらの取り組みを通して、音楽発表会のねらいである「表現力・創造力・協力性」を十分に達成することができました。

今までの学芸会に比べますと、確かに規模が小さかったかもしれませんが、実際に、みんなで発表を考えたこと、歌ったこと、演奏したことは、子どもたちの記憶の中にも、体の中にも、心の中にもきっと残っていきます。また、一方で、お子さんの発表をじっくり身近で見ることや、一体感を感じることに、試験的な動画配信により、全学年の発表を見ることができたよさもあったのではないかと思います。新しい学校のスタイルとして模索した音楽発表会でもありました。

子どもたちの振り返りの作文には、帰宅後、お家の人と一緒に発表会の動画を見たり、お家の人から褒めていただいたりした様子が書かれていました。このお家でのやり取りは、子どもたちの肯定感を育てていくとともに、とても大切な関わりだと言えます。子どもたちの発表や学校の音楽発表会の取り組みについて、『こおろぎ』の原稿が寄せられました。(運動会の時にもたくさんの声が寄せられました。) 子どもたちから「やってよかった。」「おもしろかった。」などの声もうれしいものですが、参観して下さった保護者の方からの声もとてもうれしいものです。子どもたちの成長のための教育活動ではありますが、発表を通して「こんなことが伝わってほしいなあ。」「分かってもらえたらなあ。」という思いを持ちながらやっています。それを受け止めていただいた声を聴くことができたことは、私たちの励みになりました。本当にありがとうございました。

6年生修学旅行 そして5年生宿泊研修

10月11・12日は修学旅行でした。6年生全員が「みんなで楽しい修学旅行にしていこう」という態度で臨んでいました。しっかりした挨拶、説明を聞く態度、調べる態度など、とても立派な姿があり、よさや成長を見ることができたとても素晴らしい修学旅行となりました。1日目は、北見ファミリーランド、北見カーリングホールでの体験学習を行いました。2日目は、網走監獄博物館、オホーツク流氷館、モヨロ貝塚と、社会や理科などの教科に関係が深い施設の見学をしました。おそらく、子どもたちの心に残った2日間になったことでしょう。

5年生は、先日、北方領土少年少女塾に出かけてきました。北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)、北方領土資料館の見学や、元島民の方のお話を聞くなど、北方領土学習についての理解を深めました。そして、11月4・5日には、ネイパル厚岸での宿泊研修に出かけます。自然探索や施設見学、街並みフォトラリーなどの1泊2日の体験学習を行います。それぞれがルールやマナーを守り、楽しい宿泊研修にしましょう。そのためには、5年生一人一人が、自分たちで宿泊研修を作り上げていく意識を持ってほしいです。そして、そこで学んだことを今後の学校生活に生かしていく、来年度の修学旅行につなげていく、そんな宿泊研修になることを願っております。

(校長 荒 雅 樹)